《第一回火災保険水災料率に関する有識者懇談会》

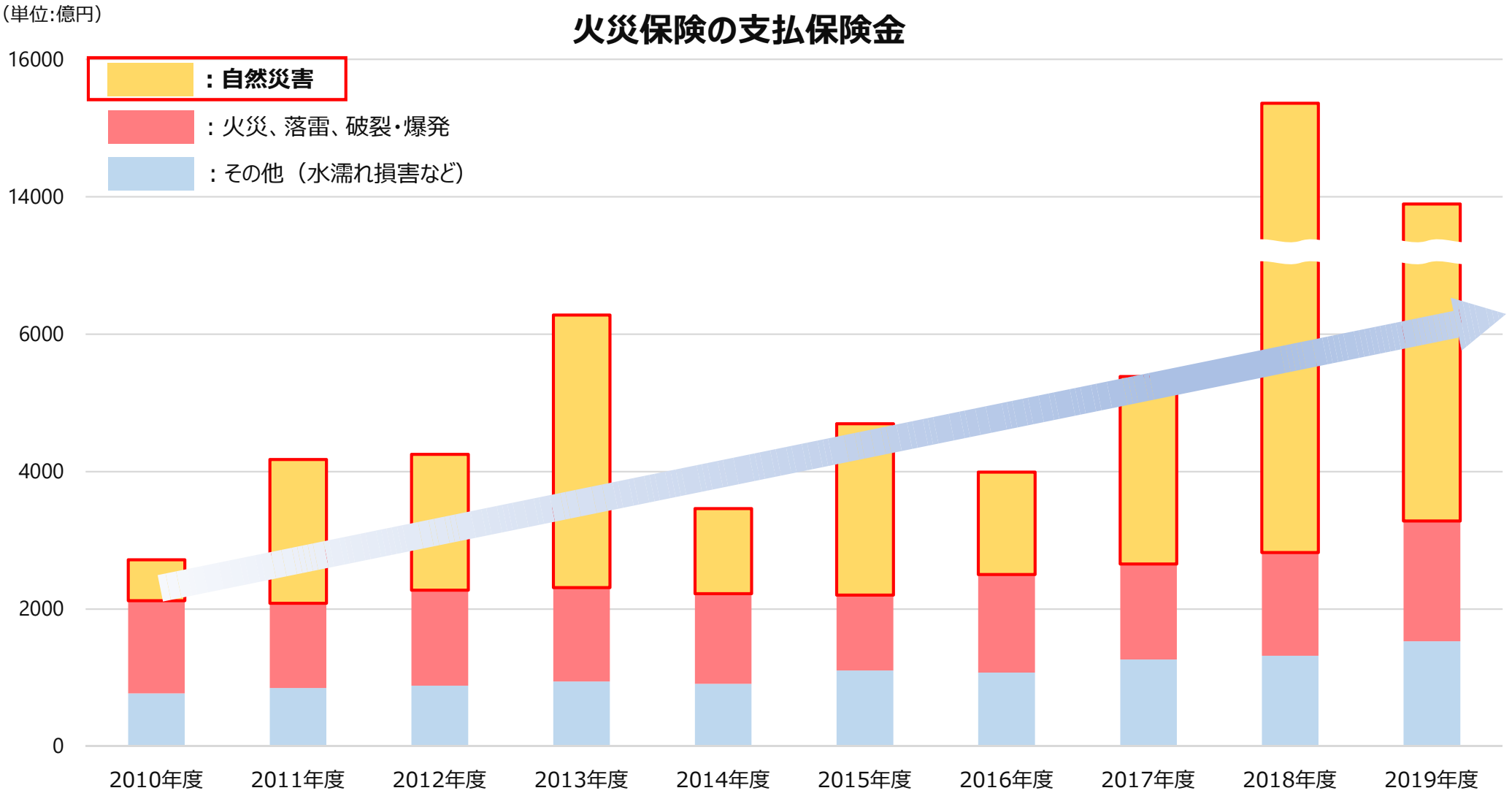
火災保険における保険金支払いと収支の状況等

令和３年６月２５日

一般社団法人　日本損害保険協会

1．火災保険の保険金支払い状況

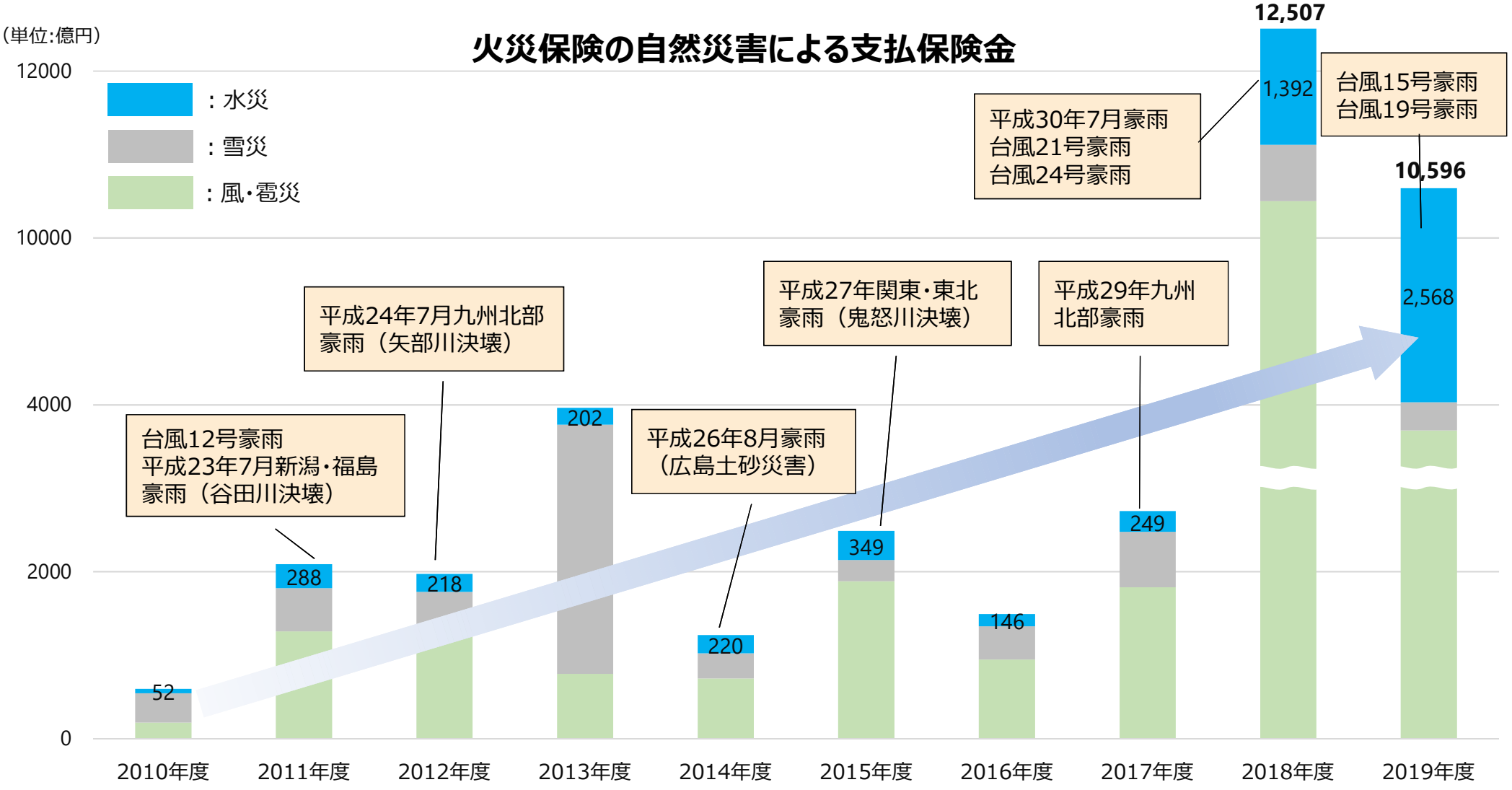
■ 大規模自然災害の発生有無によって、各年度の保険金支払い額は変動するが、火災保険の保険金支払いは自然災害を中心に増加傾向にある。



出典：損害保険料率算出機構データをもとに損保協会作成。

2．自然災害による保険金支払い状況

■ 自然災害による保険金支払いは、ここ10年で増加傾向にある。特に2018・2019年度は風災と水災を中心に大幅に増加し、2年連続で１兆円を超える保険金支払いとなった。



出典：損害保険料率算出機構データをもとに損保協会作成。

３．近年における自然災害の頻発化・激甚化

■ 大規模自然災害による保険金支払額（除く地震保険）の上位10件のうち、半数にあたる5件が2018年・2019年に発生。
2018年の3災害の支払保険金合計は約1.6兆円。2019年の2災害の合計は約1兆円。

＜大規模自然災害の保険金支払事例（除く地震保険）＞

順位			
1	２０１８年（平３０）台風２１号	大阪・京都・兵庫等	10,678億円
2	２０１９年（令　元）台風１９号	東日本中心	5,826億円
3	１９９１年（平　３）台風１９号	全国	5,680億円
4	２０１９年（令　元）台風１５号	関東中心	4,656億円
5	２００４年（平１６）台風１８号	全国	3,874億円
6	２０１４年（平２６）２月雪害	関東中心	3,224億円
7	１９９９年（平１１）台風１８号	熊本・山口・福岡等	3,147億円
8	２０１８年（平３０）台風２４号	東京・神奈川・静岡等	3,061億円
9	２０１８年（平３０）７月豪雨	岡山・広島・愛媛等	1,956億円
10	２０１５年（平２７）台風１５号	全国	1,642億円

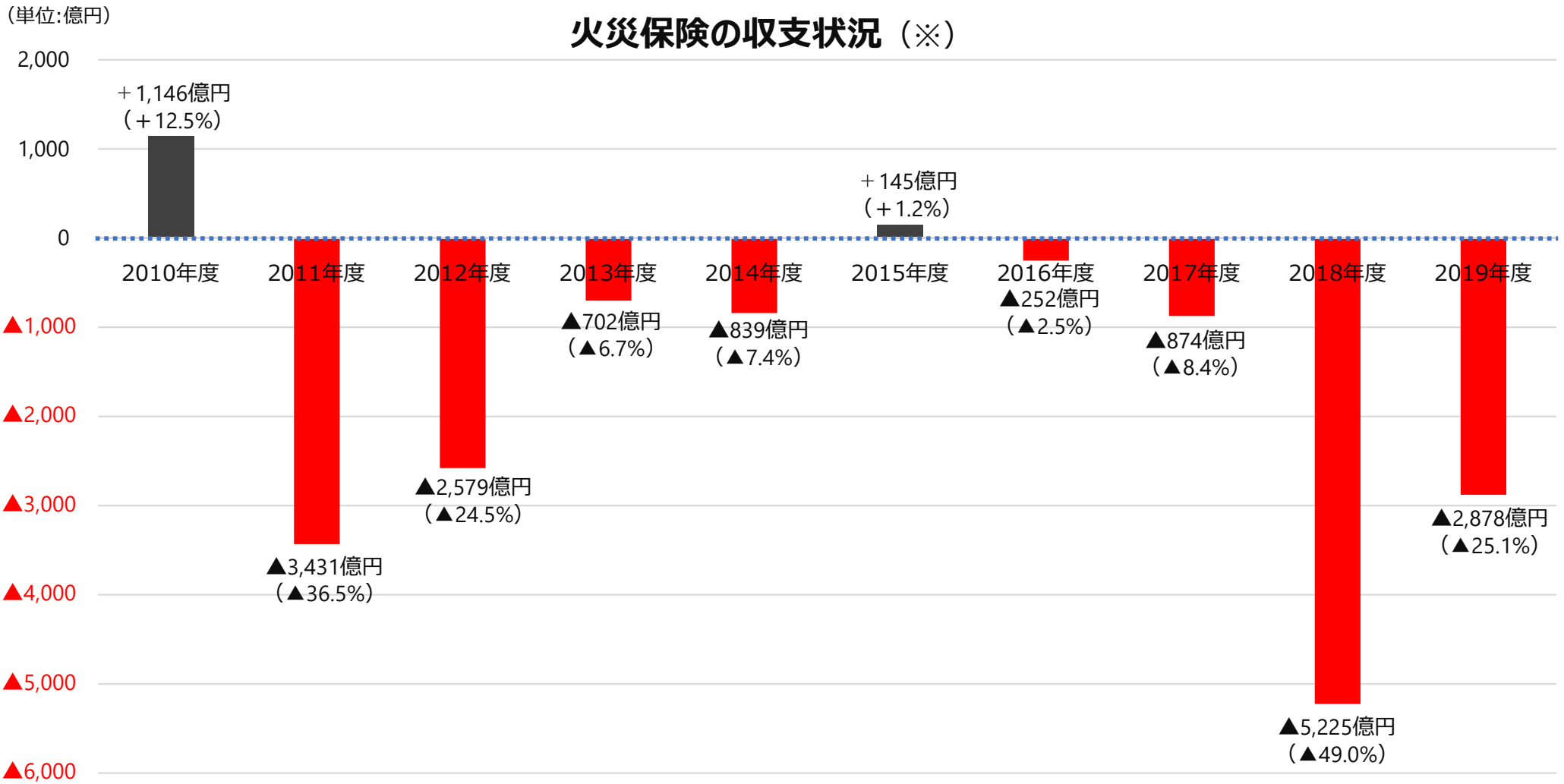
※損保協会調べ（2020年3月末時点、見込みを含む）。

2018年7月豪雨による土砂被害（写真提供：時事通信社）

2019年台風19号による浸水被害（写真提供：共同通信社）

4. 火災保険の収支状況

■ 自然災害の頻発もあり、この10年にわたり火災保険の収支は赤字が常態化。（大規模災害が発生した年度には大幅な赤字が発生、それ以外の年度でも赤字の水準にとどまっている。）

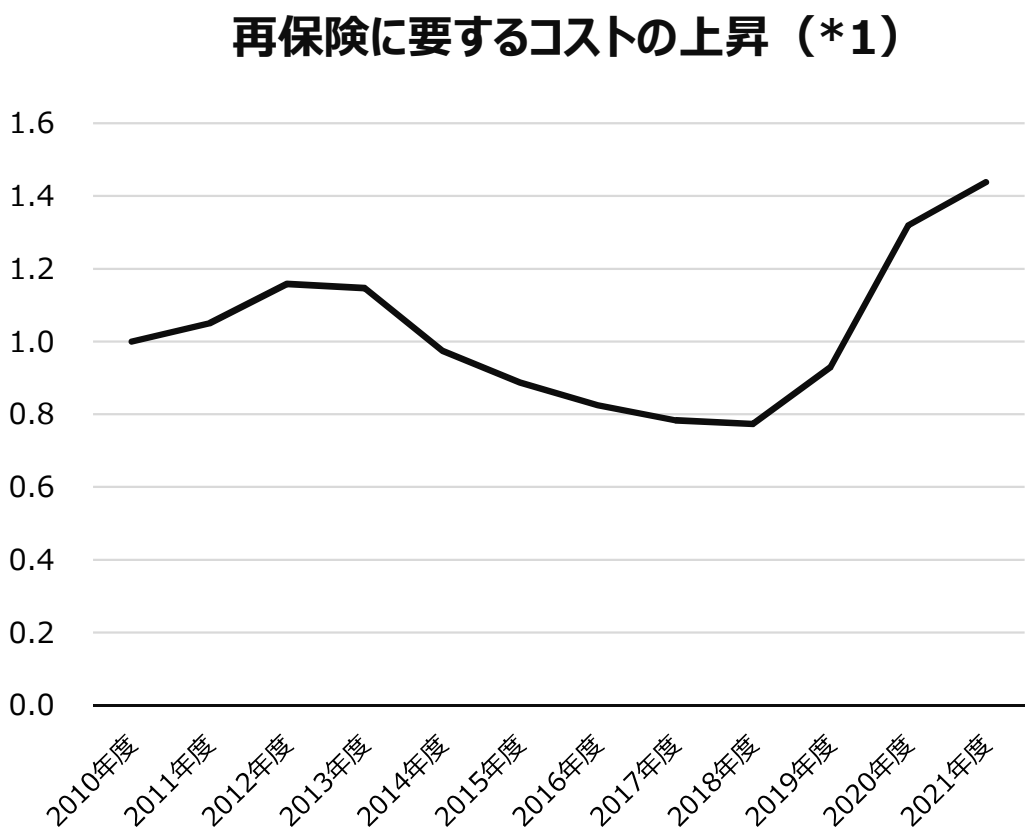


（※）収支は、火災保険の正味収入保険料から正味支払保険金・損害調査費・事業費を差し引いて算出（国内損保会社合計）。
またカッコ内の数値は、1から（正味支払保険金＋損害調査費＋事業費）÷（正味収入保険料）を差し引いて算出。
出典：インシュアランス損害保険統計号をもとに損保協会作成。2019年度数値は損保協会調べ。

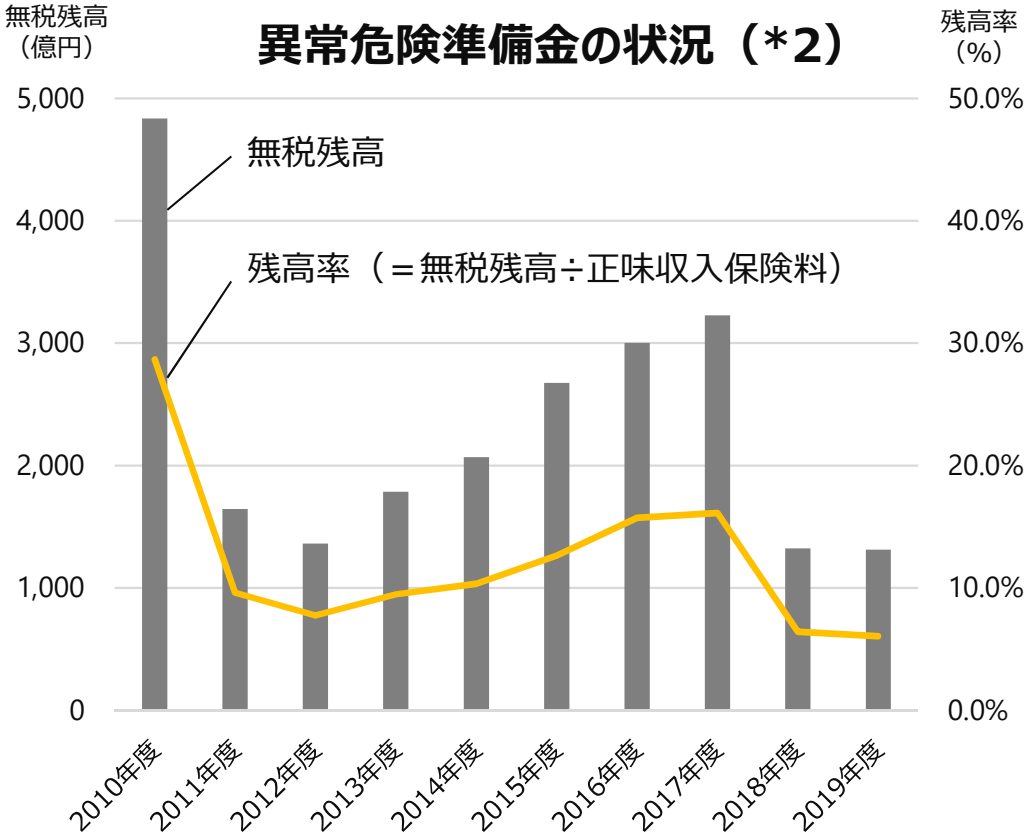
5. 再保険と異常危険準備金の状況

■ 結果として、再保険に要するコストの上昇（※１）に加え、巨大災害に備える準備金である異常危険準備金（※２）の残高も枯渇状態にある。

（※１）損害保険会社は事業成績の安定化等の目的で、自然災害リスクなどに対して再保険の手当てをしているが、度重なる大規模自然災害の発生に伴い、足元では再保険料が急騰している。
（※２）大規模自然災害が発生した場合の巨額の保険金支払に備えるため、保険料収入から一定額を積み立てる準備金のことをいう。



（*1）日本市場における風水災カバーの再保険レート指数（2010年度を1）
出典：Aonデータをもとに損保協会が作成。



（*2）税法上無税となる範囲内の積立額で積み立てた残高
出典：会員各社からの報告内容に基づき損保協会が作成。

６．火災保険の参考純率の動向

■ 多くの損害保険会社は、損害保険料率算出機構が算出する参考純率（※）を基礎として、自社の保険料率を算出している。
近年の自然災害による支払保険金増加等の理由により、参考純率は水準引上げが続いている。

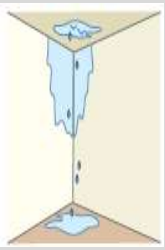
（※）参考純率とは、料率算出団体が算出する純保険料率（保険料のうち保険金の支払いに充てられる部分）をいう。
料率算出団体の会員保険会社は、自社の保険料率を算出する際の基礎として、参考純率を使用することができる。

＜住宅総合保険の参考純率の水準改定＞

参考純率改定の届出日 （適合性審査通知受領日）	参考純率の平均改定率
2021年5月21日届出 （2021年6月16日受領）	+10.9%引上げ
2019年10月7日届出 （2019年10月30日受領）	+4.9%引上げ
2018年5月21日届出 （2018年6月15日受領）	+5.5%引上げ

（注）上記内容は水災だけでなく、火災、落雷、風災、その他危険などの損害も含んだ料率の推移。

【参考①】火災保険の補償例

事故の種類								
火災	落雷	破裂・爆発	風災・雹災・雪災	水災	水濡れ	物体衝突	盗難	破損・汚損等
								

【水災・オールリスク型商品の例】

保険金の支払条件	保険金支払額
保険価額の30%以上の損害	100%実損払い
床上浸水または地盤面より45cmを超える浸水	
上記以外（保険会社によっては実損払で補償する商品がある）	支払対象外

【参考】火災保険の商品名

個人向け火災保険の各社ペットネームは、住宅に関するリスクを幅広く補償することを示すため、「すまいの保険」を使うのが主流

Total assist 住まいの保険

タフ TOUGH すまいの保険

GK すまいの保険
安心のゴールキーパーでありたい。
GK すまいの保険

個人用火災総合保険 THE すまいの保険

【参考②】水災補償の必要性

- 火災保険で補償される水災事故の種類は、台風・大雨等による河川の氾濫だけでなく、土砂災害、高潮、融雪洪水、都市型水害（主に内水氾濫）など多岐にわたる。
- よって、必ずしも河川の近く等にお住まいのお客様だけではなく、あらゆるお客様に水災補償をご提案していく必要があると考えている。

＜火災保険で補償される主な水災事故＞

土砂災害

2018年7月豪雨による土砂被害（写真提供：時事通信社）

河川の氾濫

2019年台風19号による浸水被害（写真提供：共同通信社）

高潮

2004年高松市の高潮による被害（国土交通省HP・https://www.mlit.go.jp/river/kaigan/main/kaigandukuri/takashiobousai/03/index.html）

都市型水害

2004年東京・台風22号による被害（国土交通省HP・社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会都市計画部会第２回下水道小委員会「下水道による内水氾濫対策」）

融雪洪水

2010年最上川の融雪洪水による被害（国土交通省HP・平成22年12月28日新庄河川事務所・記者発表資料）

【参考③】損保業界における防災等に関する取り組み

SONPO

- 損保業界では、ハザードマップ活用による啓発活動や、自然災害を補償する損害保険のチラシ作成などを通じて、水災補償の必要性を消費者に対して訴求する活動を行っている。
- 例えば、一般社団法人 日本損害保険協会では、「そんぽ防災Web」を公開。
  本サイトでは、関係省庁の災害データと損保の支払保険金に関するデータをマッチングさせたデータベースや、地震・噴火・風水害等に備えるためのわかりやすいコンテンツ（ツール等）、損害保険商品等に関する最新情報等も随時掲載している。

＜そんぽ防災Webのコンテンツの例＞ https://sonpo-bosai.jp/

ハザードマップと一緒に読む本

洪水ハザードマップを正しく理解するためにポイントをまとめた副読書です。

自治体関係者　防災リーダー

動画で学ぼう！ハザードマップ

洪水ハザードマップを活用するためのヒント・アドバイスをまとめたビデオクリップです。

自治体関係者　防災リーダー

自然災害（風災・水害・雪災等）を補償する損害保険

台風や暴風などの風災による損害や、大雪などの雪災による損害について補償する保険を紹介しています。

教育関係者　有識者　自治体関係者　防災リーダー

「自然災害（風災・水災・雪災等）を補償する損害保険」チラシ

風災・水災・雪災等の自然災害を補償する損害保険をわかりやすく簡潔に解説したチラシです。啓発や学習会などで活用できます。

教育関係者　有識者　自治体関係者　防災リーダー

そんぽ風水害データベース

過去に発生した主な風水害の概況、被害状況と支払保険金のデータベースです。

教育関係者　有識者　自治体関係者　防災リーダー

【参考④】損保業界におけるその他の取組み例

＜地域防災力の強化に関する取組＞

全国各地の地域防災力向上への取組

これまでに実施した、地域防災力向上のための取り組みの詳細情報や報告書等を紹介しています。

教育関係者　有識者　自治体関係者　防災リーダー

日本損害保険協会支部の取組紹介

全国11支部の地域に根ざした独自の取組を紹介しています。

教育関係者　自治体関係者　防災リーダー

自治体・離島に対する軽消防自動車の寄贈

1952年度から全国の市区町村（離島除く）に、1982年度から離島に毎年、消防自動車等を寄贈しています。

教育関係者　自治体関係者　防災リーダー

全国統一防火標語・ポスター

防火意識の高揚を目的として、1966年度から毎年、全国統一防火標語による啓発活動を行っています。

教育関係者　自治体関係者　防災リーダー

＜防災教育・啓発のツール提供＞

防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」（幼稚園・保育園～小学校低学年）

子どもたちが、実際に身体を動かし、声を出して遊びながら安全・安心への「最初の第一歩」を学ぶカードゲームです。

教育関係者

ぼうさい探検隊（小学校）

子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラムです。

教育関係者

＜防災に関する基礎知識の紹介＞

被災したときに受けられる保険金以外のお金に関連する制度

被災時の「生活再建支援金」や「災害弔慰金」など、行政等からの支援制度について紹介しています。

教育関係者　有識者　自治体関係者　防災リーダー

災害時の損害保険等の手続きや減免措置

保険金のご請求手続きやご契約の確認方法、損保各社が実施する特別措置等について紹介しています。

教育関係者　有識者　自治体関係者　防災リーダー

かんたん防災（生活を守る！防災・減災情報）

災害別（地震、豪雨、火山災害）に、被害や身を守る方法、被災後困ることや対策などを紹介しています。啓発や学習会などで活用できます。

自治体関係者　防災リーダー

防災教育副教材（中学校・高等学校）

自然災害によるリスクや備えを、生徒自身が「ワークシート」に記入し、先生が「教師用手引き」を見ながら解説するプログラムです。

教育関係者

ぼくとわたしの安全（あんぜん）シート

児童向けに、災害から自分の身を守るための動作や日頃の備えについて、イラストを中心に説明したリーフレットです。

教育関係者

（※）上記はいずれも「そんぽ防災Web（https://sonpo-bosai.jp/）から閲覧可能。